

市民協働ファシリテーター制度について

京都市市民参加推進条例で、「政策の形成、実施及び評価の一連の過程において、市政参加の機会を確保すよう努める」旨が定められています。

また、市民参加推進計画（第2期改定版）では、「各局区・各職場における市民参加推進のマネジメント体制の強化」を掲げています。

これらに基づき、市民と協働した市政運営の更なる推進に向けて、市民との対話の場をこれまで以上に創出するため、5日間の実践的な研修を受けた職員を「市民協働ファシリテーター」に任命する制度を、平成29年度に創設しました。

現在56名が任命され、本年度も新たに、約30名の任命を見込んでいます。

市民協働ファシリテーターに任命された職員は、各所属がワークショップを実施する際の支援を行いますので、希望される場合は、総合企画局総合政策室（市民協働推進担当：222-3178）まで御相談ください。

1 目的

市政に対する市民意見を対話により引き出し、市民意見を適切に反映した政策の形成、実施及び評価、並びに市民と協働した市政運営を行う職員を増やすことを目的に、市民協働ファシリテーターの養成及び任命を行う。

2 任命

ワークショップの企画やファシリテーション能力を養う研修を受講した職員を、市長が、市民協働ファシリテーターに任命する。

3 役割

市民協働ファシリテーターは、所属長の了解を得た上で、以下の内容を本務として担う。

- (1) 自身の所属において、政策の形成、実施及び評価の一連の過程において、積極的に市民との対話の場を創出すること。
- (2) 市民との対話の場の創出について、他所属から相談があった場合に、企画のアドバイスを行うとともに、必要に応じて運営をサポートすること。
- (3) 翌年度以降の市民協働ファシリテーター養成研修をサポートすること。

特に相談いただける内容

- ワークショップの目的に沿ったテーマ（問い）の設定
- どのような対話の手法があるか
- 目的に沿って、どの対話の手法を用いて、ワークショップをデザインするか
- 市民から意見を聴くだけでなく、市民にも主体的に動いてもらうには、どのような工夫が必要か
- ワークショップ当日の運営のポイント など

4 平成30年度市民協働ファシリテーター派遣実績

以下のとおり延べ56名の市民協働ファシリテーターが各局区等の13件のワークショップ等の企画サポート、当日のファシリテーションに派遣され、活躍しました。

<30年度派遣実績>※依頼順

件名	派遣先	企画 (人)	当日 (人)
ヒューマンステージ・イン・キョウトの企画に係る大学生への意見聴取WS	文化市民局	2	—
山科区民まちづくり会議でのWS	山科区役所	—	3
上京区まちづくり円卓会議拡大会議（上京！MOW）	上京区役所	—	1
平成30年度山科区自治連合会連絡協議会総会「明日の山科を考える」	山科区役所	—	9
オープンデータ利活用セミナー	総合企画局	2	2
中小企業未来力会議	産業観光局	—	5
元陶化小学校跡地活用WS	行財政局	—	2
中京まちびとカフェ×文化の力	総合企画局	—	4
第22回西京まちづくり区民会議	西京区役所	—	1
中小企業未来力会議	産業観光局	—	3
上京区福祉をやっとこ講座	上京区役所	4	8
洛西地域プレイパークについて考えるWS	洛西支所	3	5
西京まちづくり区民会議	西京区役所	—	2
計		11	45

(派遣先からいただいたコメント（抜粋）)

十分な打合せができない中、初対面で様々な方がグループにおられる中での、リーダーとしての皆さんのファシリテーションの質の高さがすばらしいことに驚きました。 本制度を今後もどんどん利用させていただきたいです。
各学区の皆さんの様々な意見を聴いていただき、それらの意見を上手にまとめていただき、後の事務局による意見整理がしやすいのは非常に助かりました。 参加者からも、色々な意見を引き出していただき、本当に有意義でした等の意見を頂いています。また、会議が締まった感じになりました。
企画の段階では建設的な意見をいただき、当日には大変スムーズに場を運営していただきました。 あまり時間がない時点で依頼させていただいたにもかかわらず、力強いサポートをいただきました。
意見交換参加者が自由に意見を出す中で、出された意見の類似性や意見のポイントなどについての的確にコメントをしていただきました。限られた時間の中で、参加者が意見を出すことに集中できるよう、適切にタイムキープもしてくださいました。
参加者のほとんどが「満足」「やや満足」という感想で、「詳しく語り合えた」「いい機会だった」「グループワーキング形式は良かった」「進行役がうまかった」等の意見がありました。 少ない情報にも関わらず、当日の進行方法を色々と模索してもらい、ワークショップの実施は講師にも好評でした。ファシリを入れた少人数のワークショップを経験した人が少ないなか、こういった進め方があることや、ファシリ存在を知ってもらえた良い機会だったと思います。

① 市民協働ファシリテーター養成研修 ～未来志向による対話で「伝え合う関係」を築く～

【日程】

1日目	令和元年 8月 8日(木)	午前8時45分～午後5時15分
2日目	8月 9日(金)	午前8時45分～午後5時15分
3日目	9月 9日(月)	午前8時45分～午後5時15分
4日目	11月20日(水)	午前8時45分～午後5時15分
5日目	12月13日(金)	午後1時～午後5時15分

市民の意見を引き出すための、考え方、場の設定方法、ファシリテーションスキルなどを習得し、市民との「伝え合う力」を強化することにより、市民ニーズを的確に把握した政策及び事業形成を行う能力を身に着けます！

対象：入庁3年目以上～課長補佐級以下の職員 定員：30名

こんな人におすすめです！

- ☒ 市民の意見を踏まえた政策をつくりたい
- ☒ ワークショップをデザインしたい
- ☒ 様々な対話の手法を学びたい
- ☒ ファシリテーションを学びたい
- ☒ 「問い」が大事だと思う
- ☒ 思考法を学びたい

研修講師：(株)フューチャーセッションズ
野村恭彦氏、芝池玲奈氏



▼フューチャーセッション（未来志向による対話）の手法により、様々なセクターの協働の促進やアイデア創出などをサポート



▼渋谷区の職員研修や産官民連携で地域課題を解決するプロジェクトなどを行っている。

▼イノベーションファシリテーターを養成する5日間の講座を実施。

<https://www.ourfutures.net/pages/futuresessions>

研修プログラム（予定）

1日目 (8/8)	①ファシリテーションの理念とファシリテーターに必要な振る舞い方を学ぶ ②8つのワークショップの手法を学び実践する。 ワールドカフェ、フィッシュボウル、マグネットテーブル etc
2日目 (8/9)	①4日目に行うワークショップをデザインする ・問いづくりを行い、8つの対話の手法を組み合わせ、ワークショップのプログラムを設計する ②模擬ワークショップで、研修講師によるファシリテーションを体感する。（市民も少数参加予定）
3日目 (9/9)	①4日目に行うワークショップのリハーサル ②リハーサルを踏まえ、プログラムを再設計
4日目 (11/20)	①複数のチームに別れ、市民の参加のもと、ワークショップを運営する。 ＜ワークショップのテーマ（平成30年度）＞ ・「レジリエンス」をみんなに広めるためには？ ・京都の生物多様性、どう守る？ ・理想の働き方・職場とは？ ・市民公募委員に魅力を感じてもらうには？ ※実際のワークショップ名等は、研修受講者が検討します。
5日目 (12/13)	①4日目のワークショップのレポート作成・振り返り ②今後のアクションプランの作成

研修を修了した方は、市長から市民協働ファシリテーターに任命されます

市民協働ファシリテーターは、所属長の了解を得た上で、以下の役割を本務として担っていただきます。

- 1 自所属において、政策及び事業の形成・評価等の過程などで、積極的に市民との対話の場を創出する。
- 2 他所属からワークショップ等の企画の相談があった場合に、アドバイスを行う。
また、相談先からの依頼に基づき、本人が希望する場合は、ワークショップ等の当日のサポートを行う。
- 3 総合企画局総合政策室 SDGs・市民協働推進担当の業務について、必要に応じてアドバイスを行う。
また、総合政策室からの依頼に基づき、本人が希望する場合は、ワークショップ等の当日のサポートを行う。
- 4 翌年度以降の市民協働ファシリテーター養成研修のサポートを行う（希望者に限る）。

市民協働ファシリテーターの名簿は、イントラネットなどで庁内に公開するとともに、必要に応じて庁外にも公開します。
総合政策室から、上記の役割に関する計画や実績報告の提出をお願いする場合があります。

受講者の声



▼昨年度の受講者一覧

<http://web.city.kyoto.lg.jp/org0014/workshop.html>

上下水道局職員課
山中 章義 企画調査係長

この研修はかなりの費用が掛かっている。どうやら大変らしい。こういう噂の絶えない当研修ですが、受け身の姿勢だと確かに大変かも知れません。それでも、**一流の講師陣と素晴らしい研修受講生の仲間と出会い、同じ時間・同じ目標を共有することができました。**私には、これがすごく価値のあることだったと思います。ファシリテーターという何だか難しい感じがしますが、“様々な方と深く話し合える場づくり”です。この経験を基礎にして、仲間とともに悩みながらも実践していきたいと思っています。

都市計画局
公共建築整備課
和田野 美久仁 さん

これまで、周りの方の見様見真似でやってきたファシリテーションの様々な手法を学ぶ良い機会となりました。

また、テクニックを学びトレーニングする場ではありますが、直接ファシリテーターを担う場面が無い部署でも、**仕事を進めるうえでの「本当の課題は何か（問いの設定）」、「それを解決するにはどういった道筋で考えればよいか（ワークショップの進め方）」等は活かせるのではないのでしょうか。**

ここでの学びを共有した職員が増え、各職場内での活用や連携が進むことを願います。

文化市民局地域自治推進室
市民窓口企画担当
久保 佐江子 担当係長

充実感ハンパない研修です。多くのスキルを学び、チーム一丸となり、市民から意見をいただくためのワークショップを実際に企画運営します。参加者から何をどう活かしていくか・・・学んだスキルを使って計画し、事業に反映できる成果をまとめます。手法だけでなく、話しやすい場作りや臨機応変な対応力も。**対人関係で大活躍する手法なので、学んで損はありません。**

前向きな仲間達からの刺激も含め、得られるものがいっぱいファシリ研修、あなたもぜひ受講してみてください！

下京区役所地域力推進室
まちづくり推進担当
岩田 竜之介 さん

この研修を受けて良かったなと思うのは、ワークショップ等を行っていく上で必要となる様々な手法が学べたことと、その学んだ手法を実践できたことです。

また、普段関わることがない部署の職員の方々と交流ができたこともこの研修ならではのなと感じました。

私が、この研修を受けたきっかけは職員3年目研修でした。**本来業務以外に視野を広げ学びたい、ワークショップ等の手法を学びたい、せっかく研修を受けるなら、内容の濃い研修を受けたい若手職員の方々にはオススメの研修だ**と思います。

環境政策局環境指導課
村川 晴香 さん

この研修では、1日で3日分のエネルギーを使ったと感じる程、**頭をフル回転させながら、対話の手法や組立て方を学ぶことができました。**また、同じように基本を学んでも、実践ではファシリテーターごとの問いかけ方の違いなどで全く異なった対話の場生まれ、ファシリテーションの奥深さを感じました。

さらに、実際の行政課題をテーマに市民を交えたワークショップを組立て、運営した際には、**最初は行政に批判的だった参加者から終了時に行政課題に対して協力したい、自分自身も何が行動したいとの声が上がったことが非常に印象的で、**ファシリテーターは対話の場において、非常に大きな役割を果たすと実感しました。

今後、自分らしいファシリテーションで活躍できるよう、実際の対話の場で経験を積んでいきたいです。また、ファシリテーター同士の絆も大切にしていきたいです。

- ・現在庁内には60名近くの市民協働ファシリテーターがいます。
- ・去る3月末にはファシリテーター同士が親睦を深める交流会も開催しました。
- ・新たな仲間が増えるのを待っています！

※所属及び役職は平成30年度時点のもの